



おぐら  
尾倉

<校訓>  
自主  
創造  
協力



令和3年10月19日(火)発行  
校長 栗原博巳  
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号  
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
- ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
- ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

# 1年の振り返り地点で思うこと～更なる高みへ～

## <3年生のみんなへ> ☆入試は自立のための第一歩☆

入試についての話を少し書きましょう。あと3ヶ月で私立高校の入試が始まります。「合格するかどうか不安だ」などと思っている人もいますが、もうそんなことは関係ないでしょう。できることはただ一つ、しっかり勉強をして、実力をつけて、自信をもって試験を受け、そして発表を待つだけです。発表まで心を落ち着けて待つ余裕がほしいものです。中学生にとっての高校入試は、自立への第一歩です。親と相談することはあるでしょうが、実際に願書を書き、それを受験校に提出するのは自分自身ですし、試験を受けるのも、合否の発表を確認するのも、自分自身です。こうした一連の手続きを通して、大人への階段を一段上っているのです。

高等学校は義務教育ではありませんし、さまざまな学校が特色ある教育を行おうと、理想を掲げ、入学希望者を募集しているわけですから、当然のことながら、競争が行われるのです。

「競争しなくても、誰もが希望する高等学校に入学できればよい」という考え方もありますが、競争のない社会は墮落するとも言われています。努力しなくても、希望がかなうことになれば、ほとんどの人は怠けることをよしとして、向上を目指さなくなってしまうからです。

それでも、入学試験は、君たち3年生にとっては、少し厳しいかも知れませんが、試練に思えるかも知れません。しかし、このハードルを乗り越えて行かなくてはなりません。そして、それはみなさん自身の頑張りが必要であることが求められているのです。多少辛いこともあるでしょうが、逃げてはいけません。正々堂々と、立ち向かってください。それが、自立であり、自らの人生を切りひらくチャンスであるのです。

全員が第一希望に合格することはないかもしれませんが、しかし、一方、それによって人生が決定されるわけでもありません。人は、さまざまな環境や経験によって、学びを深め、成長していくのです。それが、人間の社会であり、この世の仕組みです。

恐れることなく、焦ることなく、怯(ひる)むことなく、あきらめることなく、どこまでも立ち向かってください。それが、自立のための第一歩です。

入試はいろいろな意味で勉強になります。友達の進路を認め合うこともその一つです。『〇〇高校は良くて、△△高校はダメだ』という間違っただけの考えをもたないでください。あなた自身がそうであるように、友達一人一人も目指す高校が違います。3年生全員で励まし合ってください!!



## <2年生のみんなへ> ☆今、中学校生活の振り返り地点! ☆

2年生にとって大きな行事はこれからの体育大会、文化発表会ですね。部活動は多くの部の中心になって頑張っていると思います。生徒会も新しいメンバーになります。これからです!

今日は、今の自分を少し振り返ってみましょう。中学2年生半分以上過ぎたところになります。ということは、中学校生活も半分以上過ぎたということになります。3年生は、今、進路決定の途中です。高校説明会や体験入学、オープンスクールなどもあります。11月の初めに行われるテストは、「三者面談」での「進路決定」に向けての大きな材料となるテストです。あなたたちもちょうどあと1年後には、そういう大切な時期を迎えることになります。では、今から、1年前を振り返ってみてください。どうですか。「頑張ったな」と思う人もいれば「1年間、何をやってきたかなあ」と考える人もいるでしょう。この質問をすると、ほとんどの人から「1年ってあつという間だな」という感想が多く返ってきます。繰り返しますが、2学期以降は「体育大会」「文化発表会」「キャリア教育」「社会見学」が主な行事です。あとは期末考査や中体連の試合、中文連のコンクールなどです。

自分の「夢」や「目標」をしっかりもてるということは、「今、自分は何に取り組んだらいいのか、何に打ち込んだらいいのか」ということが見えてくるということです。それが見えてくると、つまり、自分の頑張ることがはっきりしてくると、生活面での様々なことが充実してくることが多くなります。1年半過ぎた今、これからの目標をもう一度確かめましょう。



## <1年生のみんなへ> ☆今こそ日頃の自分を見つめ直す時☆

先生は長い間バドミントンの指導をしています(現在も北九州市バドミントン協会にて指導をしています)。バドミントンの大会を通じて思ったことを書きます。先生は大会役員なので、試合を見て感じていることをいくつか書きますね。

いつも思うことですが、中学生の試合は、技術の問題だけではなく、気持ちの問題が大きいと思います。競り合ったときに勝敗を分けるのは、あきらめないねばり強さ、集中力、一瞬のひらめきです。そして、これらは、普段の練習態度や、生活態度、挨拶、授業態度の差なのです。どんな競技でもある程度の技術は、部活(クラブ)に出れば身につきます。しかし、試合になったときに「勝つ」には技術だけでは絶対にダメなのです。

練習ではうまくできていたことが試合ではできない。するとそこであきらめてしまう。結果は見えています。うまくいかないなりに、ねばり強く工夫してあきらめないという強い精神力が必要です。普段の練習の挨拶、気合い、きびきびとした態度からそういった精神力は身につきます。そして、強い精神力を身につけるためには、厳しさを乗り越えて達成したいという目標が必要です。目標のない練習からは得るものはありません。

みんなはまだそういった厳しさには直面してないと思います。3年間の部活動(クラブ・習い事)で何かを得たいと思ったら、まず、普段の生活の中で自分を厳しい環境に追い込み、練習の中で精神力を鍛えてください。苦しいけどやりがいのある何かがあります。